

## 「課題解決型高度医療人材養成プログラム」における工程表

申請担当大学名	横浜市立大学
連携大学名	
事業名	都市型地域医療を先導する病院変革人材育成

### ① 本事業終了後の達成目標

本事業終了後の達成目標	
達成目標	<p>① このプログラムを実施することで、本学の大学病院をはじめ、他大学も巻き込み、次期病院長、副病院長、病院長を補佐する幹部となる人材のプールを作る。大学病院等の次期病院長・幹部の選定要件に、本プログラムの修了が採用されることは、本事業の大きな達成目標の一つである。</p> <p>② 若手あるいは中堅医師、その他の医療従事者、大学病院職、行政職などで、経営に意欲のある人材を発掘し、育成することで、大学病院の経営に加え、地域の他病院や行政などで、地域医療の構築にリーダーシップを発揮する人材を増やす。</p>

### ② 年度別のインプット・プロセス、アウトプット、アウトカム

		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
インプット・プロセス (投入、入力、活動、行動)	定量的なもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレ講座「医療経営学」「医療政策学」(各・全5回)実施</li> <li>・医療経営研究会実施(1回)</li> <li>・シンポジウム実施(1回)</li> <li>・事業推進委員会の開催(3回)</li> <li>・外部評価委員会の開催(1回)</li> </ul>	<p>プログラム新規受入れ: 7名</p> <p>内訳:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医師(病院長・幹部候補者): 2名</li> <li>医師(若手): 1名</li> <li>その他: 1名</li> <li>看護師: 2名</li> <li>事務・横浜市: 1名</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療経営研究会の開催(2回)</li> <li>・事業推進委員会の開催(6回)</li> <li>・外部評価委員会の開催(2回)</li> </ul>	<p>プログラム新規受入れ: 10名</p> <p>内訳:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医師(病院長・幹部候補者): 2名</li> <li>医師(若手): 1名</li> <li>看護師: 2名</li> <li>事務・横浜市: 1名</li> <li>その他: 2名</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療経営研究会実施(2回)</li> <li>・シンポジウム実施(1回)</li> <li>・事業推進委員会の開催(6回)</li> <li>・外部評価委員会の開催(2回)</li> </ul>	<p>プログラム新規受入れ: 12名</p> <p>内訳:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医師(病院長・幹部候補者): 3名</li> <li>医師(若手): 1名</li> <li>看護師: 3名</li> <li>事務・横浜市: 3名</li> <li>その他: 2名</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療経営研究会の開催(2回)</li> <li>・事業推進委員会の開催(6回)</li> <li>・外部評価委員会の開催(2回)</li> <li>・ケース教材企画</li> </ul>	<p>プログラム新規受入れ: 13名</p> <p>内訳:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医師(病院長・幹部候補者): 3名</li> <li>医師(若手): 2名</li> <li>看護師: 3名</li> <li>事務・横浜市: 3名</li> <li>その他: 2名</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療経営研究会の開催(2回)</li> <li>・事業推進委員会の開催(6回)</li> <li>・外部評価委員会の開催(2回)</li> </ul>
	定性的なもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・e-learningシステムの整備</li> <li>・「医療経営学」「医療政策学」e-learningコンテンツ制作</li> <li>・「医療経営学」「医療政策学」「組織・ガバナンス」の教材作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「医療経営学」「医療政策学」e-learningコンテンツの稼働</li> <li>・「医療経営学」「医療政策学」の教材使用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「医療経営学」「医療政策学」e-learningコンテンツの稼働</li> <li>・「医療経営学」「医療政策学」の教材使用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「医療経営学」「医療政策学」e-learningコンテンツの稼働</li> <li>・「医療経営学」「医療政策学」の教材使用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「医療経営学」「医療政策学」e-learningコンテンツの稼働</li> <li>・「医療経営学」「医療政策学」の教材使用</li> </ul>

アウトプット (結果、出力)	定量的なもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレ講座「医療経営学」「医療政策学」開講(延べ40名)</li> <li>・「医療経営研究会」の開催(30名参加)</li> <li>・「医療経営学」「医療政策学」「組織・ガバナンス」の教材(100ページ×200冊)</li> <li>・シンポジウムの開催(100名参加、他地域・他大学関係者10名以上)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラム修了者:4名</li> <li>・「医療経営研究会」の開催(2回×30名参加)</li> <li>・病院経営改善のケース2件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラム修了者:8名</li> <li>・「医療経営研究会」の開催(2回×30名参加)</li> <li>・シンポジウムの開催(100名参加)</li> <li>・病院経営改善のケース4件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラム修了者:10名</li> <li>・「医療経営研究会」の開催(2回×30名参加)</li> <li>・病院経営改善のケース5件</li> <li>・ケース教材(1冊)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラム修了者:10名</li> <li>・「医療経営研究会」の開催(2回×30名参加)</li> <li>・病院経営改善のケース5件</li> </ul>
	定性的なもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体系的な「医療経営学」のe-learningと教材の完成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「医療政策学」ほかe-learningコンテンツの完成</li> </ul>			
アウトカム (成果、効果)	定量的なもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究会の満足度70%以上</li> <li>・シンポジウムの満足度70%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修了者の目標達成度70%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修了者の目標達成度70%以上</li> <li>・シンポジウムの満足度70%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修了者の目標達成度70%以上</li> <li>・修了者から病院幹部候補3名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修了者の目標達成度70%以上</li> <li>・修了者から病院幹部候補7名</li> </ul>
	定性的なもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学内外への本事業認知度向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学病院経営の改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学病院経営の改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学病院経営の改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学病院経営の改善</li> </ul>

③ 推進委員会所見に対する対応方針

要望事項	内容	対応方針
①	事業の実施に当たっては、学長、病院長等のリーダーシップの下、責任体制を明確にした上で全学的な実施体制で行うこと。また、事業期間終了後も各大学において、長期的な展望に基づく具体的な事業継続の方針・考え方について検討し、自立化した事業体制を構築すること。	実施にあたっては、学長のガバナンスの下、病院長をリーダーとした事業推進委員会を設置し、運営する。このプログラムは、履修証明プログラムとして実施し、医学研究科、国際マネジメント研究科、附属2病院が連携して、事業期間終了後も継続する。
②	自己点検・評価や外部評価を実施し、事業の改善を行いつつ、全国の模範となる体系的な教育プログラムを展開すること。その際、受講しやすい環境整備に配慮するとともに、修了者のキャリアパス形成につながる体制を構築すること。	事業推進委員会、学内会議等での自己点検・評価に加え、有識者による外部評価委員会を設置し、PDCAサイクルによる事業改善を図る。e-learning等、科目受講をしやすい環境を整備するとともに、附属2病院、横浜市医療局、横浜市中核病院及び横浜市医師会の協力の下、修了者のキャリアパス形成につながる支援を行う。
③	事業の実施状況や成果等を可能な限り可視化した上で、地域や社会に対して分かりやすく情報発信するとともに、構築した教育プログラムの他大学・大学病院への普及に努めること。	Webサイトの構築、研究会・シンポジウムの開催等を通して、情報発信するとともに、他大学・大学病院からも受講生を受入れ、プログラムの普及に努める。また、修了生がこのプログラムをサポートする形を構築し、地域医療の課題を修了者・関係機関ネットワークを通して解決していく体制を目指す。

④ 推進委員会からの主なコメントに対する対応方針

推進委員会からの主なコメント(充実を要する点)	対応方針
現状の大学病院の最重要問題であるガバナンス・組織論などについても、病院の幹部を目指す人材像として必要な能力である。	教材開発および科目の内容の中に、「ガバナンス・組織論」を入れてプログラムを構成していく。
教育内容に関して、横浜国立大学附属病院及び附属市民総合医療センターの病院経営会議で同定された経営課題に取り組むとし、本プログラムの修了をこの2病院の病院長等幹部になるための選定要件としている点や、他大学の履修生の受入が3年目以降となっている点など、学内向け事業の性格を有しており、補助金による事業の波及効果が低いと考える。	他大学等、外部の履修生募集は平成30年度と1年前倒しし、スタート時点からとする。そのため、平成29年度の募集は当初予定を変更して広く周知し、シンポジウムを大規模に開催し、関係者への理解、履修生の募集につなげる。外部からの履修生については、特別研究で扱うケースを自身が所属する(あるいは関係する)病院を扱い、修了後、培った知識・スキルが所属する病院等組織で活かせるよう支援する。横浜をフィールドに都市型地域医療の特性を理解し、病院経営に深い理解を持つ医療人材を育成するとともに、このプログラムを普及させていく。